



執務エリア

管理職を含めたフリーアドレスを導入。明るく開放的なレイアウトとし、固定席を設けないことで、職員同士のコミュニケーションの活性化に繋げる。



受付 オープンシェルフをカウンターとして利用することで、隔たりを感じない開かれた県政をイメージさせる開放感のある受付エリアに。



執務エリア 大型モニターの配置や脇机等の廃止、クリアデスクの徹底などの各種取り組みにより、ペーパーレスな働き方を推進。

令和 7 年 1 月現在

プロジェクトの詳細

改修完了	： 令和6年12月15日
対象人員	： 環境政策課 23名 デジタル戦略課総室 33名
対象面積	： 環境政策課 147㎡ デジタル戦略課総室 174㎡
委託業務	： なし



オカムラHPでも
ご覧いただけます

ワークライフバランスの充実とDXによる業務変革で、既存の枠を取り払い、新しい行政課題に果敢に挑戦することを目指す香川県庁。若手職員の視点から「働きやすい職場づくり」「やりがいを感じられる職場づくり」を推進するため、プロジェクトチームを立ち上げ、「新しい働き方の推進に関する若手職員の提言」をまとめました。その一つに、職場でのコミュニケーションによる相互理解を深めるためのフリーアドレス導入、オフィス改革の必要性が提案され、環境政策課・デジタル戦略総室の2部門においてオフィスリニューアルが実施されました。

執務スペースでは、管理職を含めたフリーアドレスが導入され、毎日席が変わることで、別のグループの職員と隣り合わせになることもあり、コミュニケーション活性化が図られています。また、移動式の机なども設置し、スペースを有効活用することで、人が集まりやすく行き来しやすいようにしており、他部局との意見交換もスムーズに行われるなど、職場全体が明るく、活気にあふれています。

加えてフリーアドレスを実現するため、段階的に文書削減やさらなるペーパーレスを推進し、脇机等を使わない運用としています。執務スペースの各所にモニターを配置することにより、業務を進める上でも、紙に捉われない働き方が実践されています。



オープンミーティングスペース

移動式の机を執務室中央に配置することで、人数によって配置等の変更が可能で、声掛けによりすぐに集まり打ち合わせがスムーズに。また、周囲の職員も内容や雰囲気を感じ取ることができ、情報共有やアドバイスのきっかけに繋がる。



執務エリア

管理職を含めたフリーアドレスを導入。高さ・形状の異なるデスク、カラフルな配色のシーティング(ハンガー付き)を配置しており、職員はランダムに決定された執務席で勤務している。



集中ブース

パネルは音の反響を抑え、周囲の視線を程よく遮ることができ、個人の集中作業に適している。



モバイルロッカー

脇机や固定席の引き出しを廃止し、個人の書類・荷物などを保管する個人ロッカー。配布物が投函できる扉裏ポストを備えている。



大型テーブル

執務室中央に象徴的なハイテーブルを配置。あえて椅子を配置せず、さまざまな用途で自由に利用できるスペース。モニターを常設し、スタンドアップミーティングスペースとしても活用することで、協議時間の短縮にもつながっている。



モバイルロッカー

自席ワゴンを廃止し、個人の書類・荷物などを保管する個人ロッカー。ダイヤル錠仕様とし、鍵管理の負担を軽減。



集中ブース

執務スペース奥に配置された、ソロワークに最適なワークブース。周囲の視線を遮り、吸音効果のあるパネルを採用。



大型テーブル

目線や体勢が変わることで、気分の切り替えや疲労軽減にもつながる。



受付・ミーティングスペース

事業者との打ち合わせが多いミーティングスペースは入口付近に配置し、オープンシェルフで仕切ることにより、開放感のある執務室とセキュリティラインの両立を実現。



ラウンドテーブル

明確に境目がないラウンドテーブルは、傍らに寄り声掛けや相談がしやすく、自然なコミュニケーションを促す。